

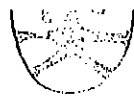
報告第30号

令和2年度公益財団法人宇治市野外活動センター経営評価の
報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条
第1項の規定に基づき、令和2年度公益財団法人宇治市野外活動セ
ンター経営評価について、別紙のとおり報告する。

令和3年9月16日提出

宇治市長 松 村 淳 子



3 公財宇野活 49 号
令和 3 年 5 月 31 日

宇治市長 松村 淳子 様

宇治市西笠取辻出川西 1 番地
公益財団法人 宇治市野外活動センター
代表理事 杉本 厚 夫



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第 4 条第 2 項に基づき、次のとおり報告します。

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	公益財団法人 宇治市野外活動センター	設立年月日	平成 11 年 3 月 24 日
公益財団法人への移行年月日			平成 23 年 4 月 1 日
基本財産	50,000 千円 (移行前 50,000 千円 うち市出えん・出資額 50,000 千円 出資比率 100%)		
設立目的	宇治市総合野外活動センターの管理・運営を行うとともに、野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性と責任感を育み、人々の学ぶ喜びを増進し、人と人との連帯感を高めることにより、生涯学習の推進を図り、もって新しい文化と活力ある地域社会の創造に寄与することを目的とする。		

2. 役職員等の状況

		平成 30 年度			令和元年度			令和 2 年度		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員等	常勤	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤	12	1	4	12	1	4	12	1	4
職員	管理職	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	一般職	10	0	0	10	0	0	10	0	0
	計	11	0	0	11	0	0	11	0	0

*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1人でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
活動支援事業	総合野外活動センター利用者の円滑な活動を支援するため、天体観察での天文ボランティアの手配や創作活動の指導、助言を行うとともに、農業体験やふるさと体験のできる活動を紹介し、その実施について調整を図った。
野外活動奨励事業	無料参加のイベントを開催し、市民が気軽に野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に総合野外活動センターの利用が促進されることを目指した。また、より充実した活動プログラムの開発を行うため、野外活動に関する最新情報の収集を行った。
活動体験事業	生涯学習の推進を図るため、天文教室、陶芸教室等、様々なイベントを企画・実施した。
宇治市総合野外活動センター管理運営事業	総合野外活動センターの管理運営を宇治市より指定管理者として受託し、施設の管理運営業務を行った。

4. 財務状況

1) 正味財産の状況

(単位：円)

年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
収 益	143,491,902	140,733,675	129,689,689
収益事業収益等	4,977,384	5,255,731	2,689,250
市支出金	138,514,518	135,477,944	127,000,439
人件費	77,087,433	73,584,720	69,558,856
事業費	61,427,085	61,893,224	57,441,583
費 用	138,825,611	140,255,107	129,266,199
人件費	73,252,533	73,587,060	69,558,856
事業費	65,573,078	66,668,047	59,707,343
当期経常増減額	4,666,291	478,568	423,490
当期正味財産増減額	4,666,291	478,568	423,490
正味財産期末残高	51,190,059	51,668,627	52,092,117

2) 貸借対照表

(単位：円)

年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
資産合計	95,038,300	94,127,517	107,654,754
流動資産	15,634,724	11,076,507	22,017,048
固定資産	79,403,576	83,051,010	85,637,706
負債合計	43,848,241	42,458,890	55,562,637
流動負債	15,634,724	11,076,507	22,017,048
固定負債	28,213,517	31,382,383	33,545,589
正味財産合計	51,190,059	51,668,627	52,092,117
基本財産	50,000,000	50,000,000	50,000,000
その他正味財産	1,190,059	1,668,627	2,092,117

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
補助金	80,130,206	76,489,393	71,584,966
委託料	58,384,312	58,988,551	55,415,473
その他(分担金等)	0	0	0
計	138,514,518	135,477,944	127,000,439
貸付金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
人件費比率	人件費計÷費用計	52.8%	52.5%	53.8%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	53.9%	54.9%	48.4%
流動比率	流動資産÷流動負債	100.0%	100.0%	100.0%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	0%	0%	0%

5. 経営評価（法人自己評価）

視点	評価	コメント
目的適合性	A	<p>近年の社会情勢の変化の中で、自然とのふれあい・自然の中での交流など自然に対する関心が高まりつつあり、総合野外活動センターの果たす役割と期待は大きく、より多くの市民に余暇活動や生涯学習の場を提供できるような取組や、地域振興を兼ねた農業体験イベントを実施するなど、財団設立の目的に合致した施設運営を行っている。</p>
効率性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・林間学習において小学校間の利用調整を行い、新型コロナウイルス感染症の影響による日程延期やプログラム調整など適宜実施し、施設の効率的な利用に努めた。 ・冬期の利用促進を目的に毎週末イベントを実施するなど、施設利用増進に努めた。 ・年間を通じて節電・節水を励行し、料金の安い新電力との契約など経費の削減に努めた。 ・各イベントについてはホームページからの申込受付や、メールインフォメーション、SNS で情報を発信した。また申込多数のイベントは定員、回数を増やす等、利用客の利便性を高めた。 ・講習会や主催大会を定期開催するなどグラウンド・ゴルフの普及に努めた。 ・テレビ、ラジオ、雑誌等の取材に積極的に協力し、施設の PR を実施した。 ・アウトドア需要の拡大を受け、冬期の日帰り利用が増加した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響や緊急事態宣言に伴う臨時休所、施設利用制限により利用者数が減少した。 ・休所期間中、中止となったイベントのプログラムやレシピ、工作メニュー、施設紹介等自宅でも楽しめる情報を動画や解説付きでホームページで発信した。

視点	評価	コメント
組織運営 健全性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりがコスト意識や施設経営を意識するように心がけ、サービス向上に努めた。 ・公益財団法人として理事会・評議員会・監査は定期、随時に行った。 ・情報公開については宇治市の「宇治市情報公開条例」の趣旨に沿って定めた、「公益財団法人宇治市野外活動センター情報公開規則」に基づき対処している。 ・平成 25 年度に策定した長期運営計画に則り、施設運営の成果や課題からも今後の施設運営方針を明確にし、計画に沿った事業展開に努めた。 ・京都府の公益法人に対する定期的な立入検査において、適正な運営実態の確認を受けた。
財務 健全性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公益法人会計基準に基づき適正に処理を行うとともに日常の経理業務にも会計ソフトを導入し、効率化を図っている。 ・基本財産についてはリスクの低い定期預金で確実に運用している。 ・財務状況の透明性をより高めるため、財務状況（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等）をホームページ上で公開している。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者として合理的かつ効率的な施設運営を心がけ、より多くの方々に施設を利用していただけるよう施設運営に取り組んでいる。 ・市内のみならず市外・府外からの利用者も増えており、ホームページやその他広報活動の成果もあわせて施設の知名度も上がってきている。 ・新型コロナウイルス感染症の状況下においても、安心してご利用いただける施設運営を目指し、自治体とも協力して感染拡大防止の取組に努めた。 ・指定管理者として健全な経営を持続発展できるよう、さらなる集客、お客様満足度の向上を目指して新たな財源確保や事業の取組等を進めている。

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い